

今後の進め方について（案）

- 懇談会の最後に今後の進め方について、参加者のみなさんに確認を頂きました。
- 今年度も引き続きルール案の作成を進めるとともに、道路など、具体的な内容については、関係権者等に対し、個別に意向把握、調整を行います。
- ルール内容の理解を深めるための勉強会、建替え等の各種相談会も検討していきます。

	ルールづくり	個別意向把握	地域別協議	地区全体での協議	勉強会等	周知
平成23年度	6月	○まちづくりルール案の検討 ・災害に強い道路の確保 ・建物等に関するルール	沿道地権者等アンケート			
	7月					
	8月		個別相談・説明(特に地権者の方)	沿道地権者向け説明会		勉強会・相談会等によるまちづくりについての内容理解(必要に応じ開催)
	9月			ルール案の提示と意見交換(説明会方式)		ニュース発行
	10月		ルール内容に関するアンケート	開催方法は地区全体での協議と地域別協議を組み合わせるなど柔軟に対応します。		
	11月	○まちづくりルール案作成				
	12月					
	1月	○その他防災まちづくり手法の検討				
	2月			ルール内容の確認(説明会方式)		ニュース発行
3月						

平成24年度

○まちづくりルールの確定と決定手続き

ルール内容の説明・周知

平成25年度

今後は、皆様に直接ご意見をお伺いする機会を増やしてまいります
引き続き、まちづくりへのご参加・ご協力をお願い致します！

若木周辺地区のまちづくりに関するご意見・お問い合わせは



板橋区 都市整備部 市街地整備課 住環境整備計画グループ

TEL 03-3579-2562 FAX 03-3579-5437

(協力) ランドブレイン株式会社 都市政策グループ

TEL 03-3263-3811 FAX 03-3264-8672

(仮称)若木周辺地区

まちづくりニュース

第7号 平成23年6月発行

第6回(仮)若木周辺地区 まちづくり懇談会を開催しました！

◎ 次 第 ◎

- ・はじめに(これまでの経緯等)
- ・議題1 若木周辺地区まちづくりアンケート調査結果について
- ・議題2 若木周辺地区のまちづくりの進め方について
- ・説明後意見交換

●第6回懇談会は、5月24日(火)に中台地域センターにて開催されました。本来3月に予定してありましたが、東北地方太平洋沖地震の影響により、先月までずれ込むかたちとなりました。今後も、継続してまちづくり活動を行ってまいります。

●若木周辺地区を、防災性が高くより快適な住宅地とするため、町会等の代表者のほか、地区にお住まいの方々、地区内に土地や建物をお持ちの方々にも広くお知らせし、10人のご参加をいただきました。

若木周辺地区 第6回「懇談会」実施内容

★ 開催概要 ★

- これまでの経過について
 - ・これまでの懇談会開催経過、地区のまち作りルールの考え方について確認しました。
- アンケート結果と今後の進め方
 - ・懇親会運営等に関わるアンケート結果の報告と今後のまちづくりルールの検討の進め方について意見交換を行いました。
- 意見交換
 - ・説明内容に関する質疑、ご意見を受けました。



会場の様子

今後の「懇談会」運営等について(アンケート調査)

- 目的：若木周辺地区の今後のまちづくりルールについて、地区の皆様へ十分に周知し、ご理解を得るための最善の方法を検討するため。(平成23年1月実施)
- 対象：これまでまちづくり懇談会にご参加された方、まちづくりの取り組みについて参加の意向を示された方、地区内の町会長等の方
- 設問：懇談会への参加、運営について、まちづくりニュースについて、まちづくりルールについて

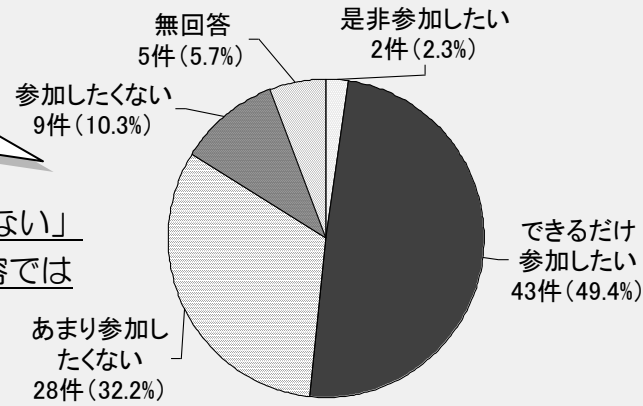
アンケート調査結果概要 (対象者 130 通 回収 89 通 (回収率 68.5%))

前号ニュース報告以降の回収分をふまえた最終集計結果です

◎ 懇談会に関する意向

【今後も懇談会に参加したいか】

●「ぜひ参加したい」、「出来るだけ参加したい」をあわせると半数以上の回答となりました。

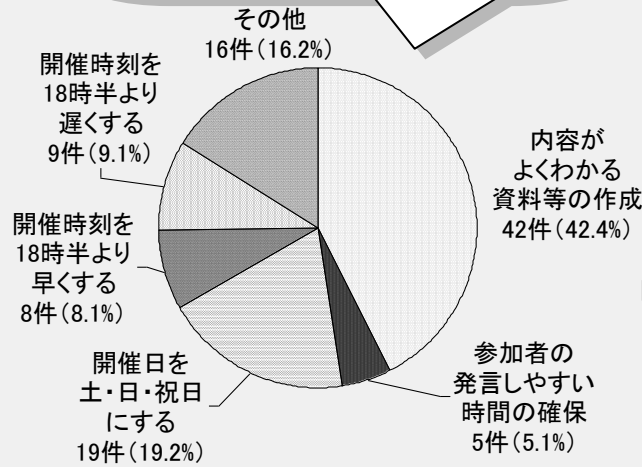


・また、不参加意向の方の理由は「時間がとれない」「説明が分かりにくい」「興味関心がある内容ではなかった」等があげられました。

◎ 懇談会の運営について

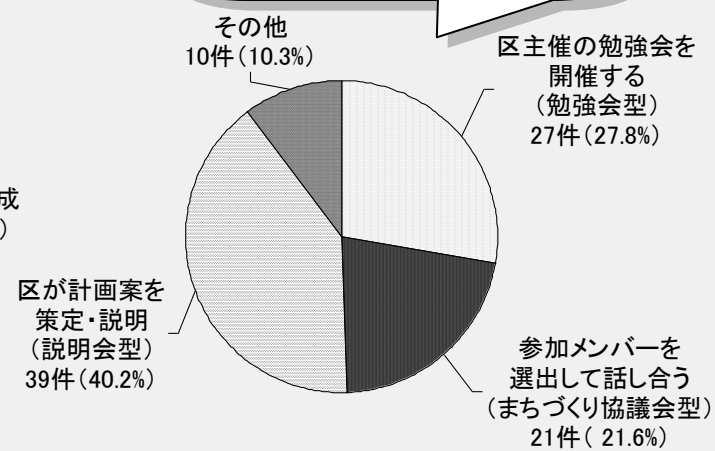
【懇談会参加推進のための改善策】

●「内容がよくわかる資料の作成」が最も多く、次いで「開催を土・日・祝日とする」でした。



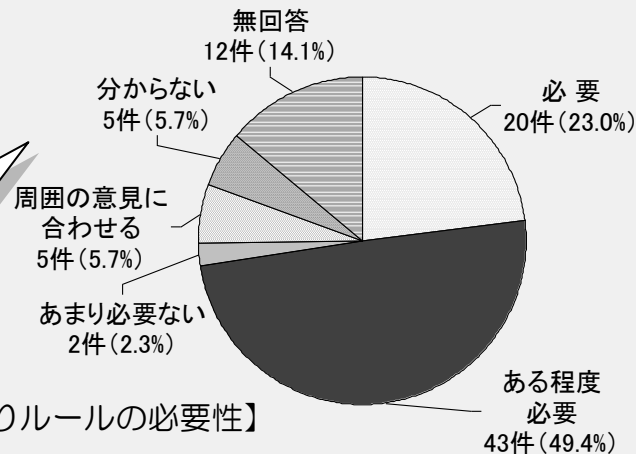
【今後の懇談会の開催方法】

●「説明会型」が最も多く、次いで「勉強会型」、「まちづくり協議会型」でした。



◎ まちづくりルール内容について

●「必要」、「ある程度必要」という回答をあわせると、約7割が必要と思われる。



【若木周辺地区におけるまちづくりルールの必要性】

今後の懇談会運営 資料作成 ニュース発行に向けて

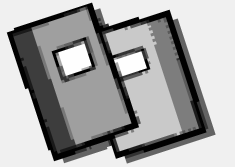
～参加しやすい・わかりやすい会議運営・情報提供に努めます～

◎開催日・時間として、休日開催も含めること、会議形式は「説明会型」を基本に、「地区別開催」あるいは「同日会場内でも地区グループを設けて意見交換」というような運営方法を再検討していきます。



◎まちづくりルール内容について、今後、より具体的な内容を、説明会等を通じてお知らせしていく予定です。

◎まちづくりニュースや資料に関して、「内容がわかり易く、表現も理解しやすいものへ改善すべきだ」との意見を多く頂きました。今後はよりわかりやすく、かつ内容を的確に伝えるよう、工夫していきます。



◎ 懇談会(全体)での主なご意見

●今後の進め方等について、参加者の方々から様々な声を頂きました。

議題	主なご意見(概要)
防災まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所の現状報告及び対応をして頂きたい。(旧若葉小など) ・木造住宅耐震化推進助成制度要件の確認について(耐震指数、Is値の考え方など ※)。 ・既存不適格の建物については、地区計画を適用するとあくまでも抑制力はあるが、強制力はないということなのか。 ・耐震化を支援することや住環境を良くすることに関しては賛成である。
アンケート結果	<ul style="list-style-type: none"> ・地区全体ではなく、対象が全体の130人と限られているが、地区全体にすべきではないか。
今後の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを作る事の意味を説明してもらい理解した上で参加したい。 ・ルールを策定するためにどれ程の同意が必要であり、どのような内容なのか説明がほしい。

※ 個別の事業内容等についてお問い合わせがありましたら、本ニュースの4頁のご意見・お問い合わせ先まで宜しくお願い致します。

◎ 懇談会(班別)のご意見

◎近隣の地区でもルールを作り、まちづくりを行っているが、パチンコ店が進出するなどしている。ルールを有効性のあるものにしていく必要がある。

◎ルール以外にも、個別事業の活用などで地区の皆さんに賛同してもらえるようなまちづくりがあると考えられるので、検討すべきではないか。

◎行政がリーダーシップを持って地域を引っ張っていくことも必要ではないか。

A班

B班

◎地区計画として、道路を広げることも必要だが、長期間にわたるため、防災施設関係など、早急に取り組むところとの両輪で進めて欲しい。

◎こうした会の意見のみを参考にして、地権者の私権に影響を及ぼすことがあっても困る。地権者対応については別輪で進めてもらい、地権者の意見などから練り直した案について、懇談会でも意見を頂き、合意をとること、その際は、根拠もしっかり説明してもらいたい。